

## 部活動などの活躍

### 《陸上競技部》

第27回荒川リバーサイドマラソン 3km中学生男子の部

第1位 ○○○○くん(1-4)

第3位 ○○○○くん(1-1)



### 《読書感想文》

荒川区読書感想文コンクール

優秀賞 ○○○○さん(3-3)

作品名「未来を諦めない」

佳作 ○○○○さん(2-4)

作品名「ふたりのロッセ」から学んだ3つのこと

○○○○さん(1-1)

作品名「ごめん」「ありがとう」が言える仲」

東京都読書感想文コンクール

佳作 ○○○○さん(3-3)



### 《薬物乱用防止ポスター・標語》

薬物乱用防止ポスターコンクール

佳作 ○○○○ (2-4)

薬物乱用防止標語

佳作 ○○○○さん(1-2)

作品名「捨てますか 家族・友人 あなたの人生」



## 南千住マイスターのコーナー

隅田川駅の取扱量は発送、到着を合わせて年間約140万トン。日夜たくさんの機関車や貨車が行き交い、荷物発着の拠点として、今日も私たちの生活を支えています。

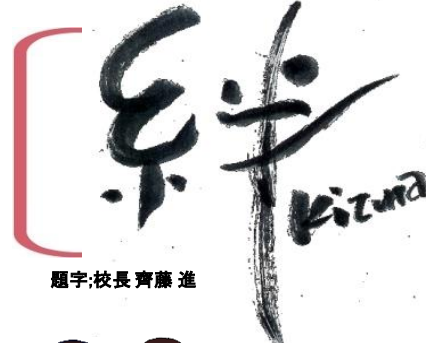
隅田川駅の取扱量は発送、到着を合わせて年間約140万トン。日夜たくさんの機関車や貨車が行き交い、荷物発着の拠点として、今日も私たちの生活を支えています。

戦後はトラックでの配送などが進み、船への積みおろし場が埋め立てられ、構内を改良してコンテナに対応した整備が整い、首都圏の東北・北海道方面との貨物輸送の拠点として使われてきました。1970年代までは東京瓦斯分所千住工場、1980年代までは日本石油隅田川油槽所へ続く専用線も存在していました。また、2006年までは、セメントの輸送なども行われていました。さらに現在では、飯田町紙流通センターの移転に伴って、首都圏の新聞・出版産業で消費される紙が、有蓋貨車(屋根付きの貨車)で隅田川駅に到着するようになっています。私たちが手にする新聞や書籍の紙はここに集められ流通しているのです。

## 南千住の交通と産業 隅田川貨物駅 2021



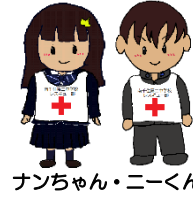
隅田川駅 貨物を牽引する機関車



題字:校長 齊藤 進



学校だより  
平成31年1月  
第91号  
荒川区立南千住第二中学校



ナンちゃん・ニーくん

## たくましい人

校長 齊藤 進

本校の教育目標は平成23年に「たくましい人」に変更しました。南二中の教育目標は何ですかと問われれば全校生徒が即答できる言葉だと思います。教育目標は山の頂上のようにめざすべき目標です。短い言葉ですがそこには、**心と体と頭のたくましさ**が求められます。教育目標変更にあたっては、当時235名の全校生徒に「たくましい人」ってどんな人か、についてアンケート調査を行いました。全ての生徒一人が一つきちんと回答しました。その結果、おおよそ次の内容に集約されました。

○やさしく思いやりのある人、○人を大切にできる人、○人の気持ちが分かる人、○素直で正直な人、○あいさつできる人、○礼儀正しい人、○心身が元気で健康な人、○心が強く信念のある人、○我慢強い人、○かべを乗り越えられる人、○決断・判断できる人、○自分の意見を言える人、○心が広い人、○心豊かな人、○積極的で行動力のある人、○前向きな人、○がんばる人、○挑戦する人、○一生懸命な人、○頼れる人、○信頼できる人、○責任感がある人、○いじめが悪いと言える人、○正義感のある人、○人を助けられる人、○勇気がある人

さらに、

あいさつ、礼儀、優しさ、思いやり、心の広さ・豊かさ・強さ、素直さ、健康、元気、信念、我慢強さ、正義感、勇気、決断・判断、積極性、行動力、前向き、努力、挑戦、信頼、責任感

などに集約できます。

このように「たくましい人」は様々なプラスのイメージが想像できます。生徒のみなさんはこのような要素をどれか一つは必ず備えています。しかし、いじめなど時として相手に対して傷つくような言葉を投げかけたり、行動をしたりするかも知れません。このことは人間の弱さや未熟さを表しています。たとえば、いじめが悪いと言える人ということについてはどうでしょう。いじめをしている人に面と向かって言うことは勇気が必要です。**勇気もたくましさです**。全ての生徒にこうしたたくましさを身に付けてほしいと思います。



皆さんはこの一年教育目標を達成することができたでしょうか。教育目標という山の頂上に登ることができたでしょうか。登頂に成功したかどうかこの一年を振り返ってみましょう。

大きな子供ではなく小さな大人として成長を願い新年を迎えたいと思います。

# 税の作文 表彰式

荒川税務署や荒川納税貯蓄組合連合会などの税務機関では、将来を担う中学生が税について関心を持ち、正しい理解を深めることを目的に、税に関することをテーマとした作文を毎年募集しています。南千住二中では、中学3年生の社会の授業で税の種類やしくみ、使われ方などを学んだ後、税についてわかったことや感じたことを夏休みの宿題として作文にまとめています。また、中学1年と2年では、国語の授業で税の標語づくりに取り組ませています。今年も沢山の作品が集まりました。税の作文では、荒川税務署長賞や荒川六団体長賞をはじめ3年生の4人が優秀な賞をいただき、税の標語でも2年生が入選しました。

11月19日(月)には、ホテルラングウッドにて、〇〇〇〇さん(3-2)と〇〇〇〇さん(3-4)が参加して表彰式が行われました。また、荒川税務署長賞を受賞した馬場さんは、12月25日(火)に、荒川税務署の1日税務署長を務めることになっています。その様子は来月号で紹介します。

将来、日々の生活や所得などから納める税金が小中学校や病院、そして暮らしなどで有効に役立てられていることを学ぶ機会となりました。

## 荒川 税務署長賞

私たちは未来の納税者 荒川区立南千住第二中学校 第3学年〇〇〇〇

今年の夏休み中に、私の中学校ではトイレの修繕工事、水道直結工事、冷水機設置が行われます。この工事費用は私たち在校生が払うのではなく全額税金で賄われます。授業で税の勉強をしたことにより、学校で当たり前だと思っていた設備工事はすべて税金のおかげだったんだと認識しました。私たちが快適な学校生活を送るためには税金はなくてはならない必要不可欠な存在なんだと思いました。

税金にはたくさんの種類があり、身近な消費税のほかゴルフ場利用税や揮発油税など初めて聞いた税金もありました。また、温泉旅行に行った時に宿泊費とは別に入湯税を払っていたことも知りました。税金の種類は国税、地方税、合わせて五十一種類もあり、この五十一種類の税に支えられて国が成り立っているんだと改めて実感しました。

先日新聞で、記録的な猛暑が続いていることを踏まえ、政府による小中学校へのエアコン設置の財政補助を検討する考えがあるという記事を読みました。小中学生の子供がいる家庭では、喜ばしい税金の使い方だと思っ一方、子供のいない家庭では違う使い方をしてほしいと意見がくい違ふことがあります。「税金なんかなくなればいい」や「税金を取られる」といった考えで脱税の犯罪を犯す人もいます。社会全体で助け合う「税」という仕組みを一人一人が理解することができれば、日本を更により良くできると考えます。

もし日本に税金がなかったらと考えてみました。所得税、区民税など多くの税金がなければ、一時的に多くのお金を手にすることができます。でも火事になっても災害がおきても、警察や消防はかけつけてくれないし、小中学校や病院もすべて自費で払っていかなければならないのです。これではますます経済格差が広がり自分の事は自分で守らなければならない、生きづらい日本だったと思います。

消費税が十パーセントに上がると知り、払う時ばかり不満に感じ、税金のおかげで住みやすい日本が作られてきたことは考えもせず、当たり前だと思っていました。でも何一つ当たり前のことはなく、税金があるから生活できることを再確認しました。税金は形を変えて、自分たちの所へ返ってきます。税を納めるということは義務でもあり、責務でもあるのでこれから納税者となっていく私たち自身も、税金について詳しく知っていくことが、大切であると強く思いました。7月に大変な被害にあった西日本豪雨では、みんなの税金が最大限の力を発揮し一日も早い復興を私は信じています。



**中学生の「税について  
の作文」表彰**

**荒川税務署長賞**  
〇〇〇〇さん(3-2)

**荒川六団体長賞**  
〇〇〇〇さん(3-4)

**荒川納連奨励賞**  
〇〇〇〇くん(3-2)

**荒川納連奨励賞**  
〇〇〇〇さん(3-4)

**税の標語入選**

〇〇〇〇くん(2-1)  
作品名「国のため  
意識を高めて  
しっかり納税」

# 杜明パレード

12月2日(日)、南千住地区『社会を明るくする運動』の街頭パレードが行われました。社会を明るくする運動とは、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な活動です。青少年育成委員会の南千住地区委員会では“非行のない明るい街づくり”を目指して、毎年7月に街頭や駅前で広報活動を、12月に街頭パレードを行っています。

南千住二中からは毎年レスキュー部と吹奏楽部が街頭パレードに参加。今年はレスキュー部の1年生16名、2年生11名がボランティアとして、会場やパレードの準備や片付け、プラカードを持ってパレードに参加し、地域のボーイスカウト活動からも3人が参加するなどしました。また、吹奏楽部24人は南千住二中の先頭に立ち、南千住二中の校庭をスタートして、コツ通り、仲通り、荒川一中までのコースを演奏しながら行進しました。この日演奏した行進曲は、「あらかわ〜そして未来へ」「聖者の行進」「Tomorrow」の3曲。1か月ほど前から練習を重ね、実際に楽器を持って1時間近くを演奏しながら歩く訓練も行ってきました。当日は隊列の先頭に立ち、パレードをリードし、休むことなく長い道のりを演奏し続けました。明るく元気なマーチングソングが街に響き、南千住の街がさらに活気あふれる1日でした。吹奏楽部の皆さん、レスキュー部の皆さんお疲れさまでした。

校外でボーイスカウトとして活動する3人も参加。



パレードに参加したレスキュー部と吹奏楽部の皆さん



社会を明るくする運動 街頭パレードの様子。



## ～年賀状作り～

12月6日(木)にレスキュー部では恒例の年賀状作りを行いました。これは、荒川区社会福祉協議会の依頼を受けて、区の『みまもりネットワーク事業』に登録している一人暮らしの高齢者の方々へ年賀状をお送りする活動に協力して毎年行っています。加えて、南千住二中の『絆ネットワーク』に登録いただいている近隣の皆さまにもお送りしています。今年は、6日(木)と7日(金)の2日間にわたり、スーパーレスキュー部、美術部などの選抜隊13名が放課後の時間を利用して、合計40通以上の年賀状を書き上げました。日頃お世話になっている皆さまへの感謝とご健勝を願う気持ちを一枚一枚に込めて作った力作揃いです。



年賀状作成のボランティアの皆さん



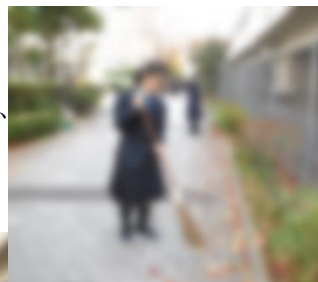
手書きのイラストやスタンプ、メッセージ入りの楽しい年賀状が完成!

## 環境委員会 落ち葉掃き

環境委員会による落ち葉掃きが今年度は11月12日(月)～16日(金)の1週間と期末考査を挟んで11月26日(月)～12月11日(火)の約2週間の合わせておよそ3週間行われました。南千住二中の校舎周辺には、多くの街路樹や樹木に囲まれた緑道などがあり、初冬を迎える頃には、たくさんの落ち葉が道路を覆います。毎日主事さんが掃き集めますが、夕方にはまた落ち葉がたまります。そこで、数年前から生徒会環境委員会が委員会活動の一つとして、早朝の落ち葉掃きを行っており、今ではこの時季の風物詩のひとつとなっています。清掃は、**生徒の登下校や近隣の生活道路として利用されている緑道を中心に行っており**、通勤途中、朝の散歩中の近隣の方々から「おはようございます」「ご苦労さま」などの声を掛けられることも多く、清々しい気持ちにもなり、3週間休むことなく、元気よく清掃活動を行いました。この間に集まった落ち葉の量は、90Lのゴミ袋10個以上にも上り、校舎周辺も道路もすっかりきれいになりました。

環境委員会ではその他にも雨の日以外の毎日、**玄関周りの鉢植えや植栽への水やり**を当番制で行っています。そして、**毎月10日、20日、30日は“ごみゼロデー”**として、通学路や学校周辺のごみをひろう活動や声かけを行うごみゼロ運動も実施。生徒の皆さんにとって快適で清潔な環境を目指して日々活動しています。

環境委員会の皆さん、ありがとうございます。



落ち葉掃きを行う環境委員会の皆さん。道路を覆う落ち葉を毎朝8時から掃き集めました。

落ち葉で覆われていた緑道が清掃後はすっきり綺麗に。

## 健康委員会 食育推進給食

来年1月に、南千住二中では給食に“食育推進給食”の特別メニューが登場します。食育推進給食とは、子どもたちが食に対する正しい知識とバランスの良い食生活を身につけることを目的として、学校給食全体のさらなるレベルアップを図るもので、荒川区より給食費の補助を受けて行っています。**今年度は健康委員会の皆さんが1組、2組、3組、4組のグループに分かれて、「オリンピックで南二中が応援する国」の料理から今回の特別メニューを考えました。**主菜部門は、1組が“ニュージーランドのミートパイ”、2組が“アイルランドのアイリッシュシチュー”、3組が“大韓民国のチーズタッカルビ”、4組が“ギニア・ビサウの自身魚のフライトマトソース”。デザート部門は、1組が“インドのラドゥ”、2組が“イタリアのタルト・アル・チョコレート”、3組が“キューバのカスタードプディング”、4組が“ロシアのシャルロートカ”を選び、**各国の歴史や特色、食習慣などとともに、壁新聞にまとめ、11月27日(火)～11月29日(木)の3日間各学年のフロアに展示しました。**壁新聞はタブレットを使ったり、図書館で調べてわかりやすくまとめられており、休み時間になると展示のまわりは人だかりができました。「どれもおいしそうで、迷う…」「一度これを食べてみたかったから、投票しよう」などの声も聞こえてきました。そして、迷いながらも生徒たちは、主菜部門とデザート部門それぞれの気に入ったメニューに投票。得票数が多かった1位と2位の料理が、**人気メニューとして来年1月28日(月)～31日(木)の給食に登場します。**

主菜部門の展示

休み時間には、投票のシールを持って生徒が集まりました。

デザート部門の展示

## アツキヨ 夢コンサート

11月26日(月)午後の全校総合の時間に、「アツキヨ夢コンサート」が開かれました。アツシさんの軽快なギターと力強い歌がはじまると、キヨさんは踊るように、サインヴォーカルで音楽を表現します。実はひとつひとつの動作には意味があり、手話に加えて、全身を使ってリズムや歌詞を表しているのです。キヨさんの耳にこの曲が届いていないことなど忘れるほどふたりの息はぴったりで、曲を重ねるごとに会場は熱気を帯びていきました。中でも「ふりかけの歌」は、教えてもらった手話で親しみやすい歌詞に合わせて生徒も立ち上がり歌い踊り大いに盛り上がりました。最後の曲は、キヨさんのソロパートのある「kiseki～もうすぐおこる奇跡を信じて」。キヨさんの歌声は、“夢をもつ大切さとあきらめない強い心”として生徒ひとりひとりの心に届く感動的なものでした。コンサートの終わりには、**生徒会長の〇〇〇〇さん(2-4)がお礼の言葉を、生徒会役員の〇〇〇〇さん(1-1)と〇〇〇〇さん(1-2)が花束贈呈**を行いました。

### アツキヨとは・

荒川区出身のあっちゃんこと佐々木厚さんがギターとヴォーカルを担当し、Kiyokoこと重度の聴覚障がいをもつ中村清美さんがサインヴォーカルを受け持つ音楽デュオ。サインヴォーカルは音楽を手話ジェスチャーで表現すること。現在、東京オリンピック・パラリンピック理解事業の一環として、荒川区内の小中学校を周り、「アツキヨ夢コンサート」を行っている。

張りのある歌声と踊りようなサインヴォーカルが印象的なアツキヨのコンサートめざまし。

生徒を代表して生徒会から花束贈呈。

ステージの上で、みんなで手話を交えて歌って踊って盛り上がりました。

## 1年生 校外学習(南千住地域学習)

毎年7月に実施予定の1年生の校外学習が今年度は雨天順延となり、秋晴れに恵まれた11月30日(金)の午後に行われました。各クラス5班に分かれて、タブレットや南千住検定の本などを使って考えたコースをそれぞれ班ごとに回りました。給食を食べた後、チェックを受けて全班時間通りにスタート。素盞雄神社、円通寺、回向院、延命寺、浄閑寺、熊野神社、日枝神社、胡録神社などの寺社・仏閣やコソ通り、天王公園、千住大橋などの史跡・名所をおよそ2時間かけて見学したり、調べて回りました。今回は各班に2台のタブレットを持参。写真撮影をしたり、南千住まち歩き専用アプリを起動させて、各地にある専用ARタブを探しそのタブを読み取って、その地点の写真と説明の表示を見るなどして、アプリを使って歩きながら学ぶことができました。**この日街歩きを楽しんで、これまで何気なく毎日通り過ぎていた景色が、その長い歴史などに触れて特別に輝くものに変わり、南千住の街がさらに好きになり、地域に対する誇りを高めることができました。**また、班行動では、班員ひとりひとりが写真や記録などの役割を持ち、**時間とマナーを守り、協力しあって楽しく実りある校外学習**となりました。これからも班やクラスなどでまとまって、自分たちの力だけで目標に向かって計画を立て実行する機会が増えてきます。1年生の成長が楽しみです。

1組

2組

松尾芭蕉に扮したのは誰?

3組

4組